EVENT GUIDE

2026年 4月-5月のイベント

月イチガク① **小泉八雲が見たジオ** ～知られぬ日本の面影～	4/18 土 14:00-15:30	日本の地形景観にも関心を持っていた小泉八雲は、松江の風景をどう見たのでしょう。	定員：会場20名 オンライン：100名 料金：入館料	要予約 オンラインは無料
きっずサンデー	4/19 日 5/17 日	しまね家庭の日にあわせて、きっずプラネタリウムやデジタル紙しばいなど、キッズ向けイベントが満載の1日。	定員：なし 料金：入館料 ※小中高生無料	
みんなでさわろう♪ **わくわくワゴン**	4/26 日 5/24 日	ふだんはさわることができない標本ですが、この日はワゴンに乗って登場！楽しいお話で生き物の不思議にせまります。	料金：入館料 ※小中高生無料	
救え！消えゆく生きものたち2026 **ギャラリートーク**	開催時間は前ページの表に記載	島根に生息する絶滅の危機に直面している生きものについて、各分野の学芸員が解説します。	定員：なし 料金：入館料	
さんべの森たんけんたい **おにぎりを作ってピクニック！**	4/26 日 9:30-14:00	キャンプ場で飯ごう炊さんにチャレンジ!おにぎり弁当をつくって北の原へピクニックにでかけます。	定員：親子6組 料金：大人300円 小学生以下100円	要予約 対象：幼児～小学生低学年を含む家族
フィールドワーク **結晶のヒミツ** 幻のアメシストを探しに行こう	4/29 水 13:30-16:30	三瓶でかつて採取できた"幻のアメシスト"を探しに行きます。結晶のヒミツを紹介する講座も行います。	定員：親子5組 料金：入館料	要予約
ゴールデンウィーク **天体観察会**	5/2 土～ 5/5 火 ①20:00-20:45 ②21:00-21:45	この時期に見やすい木星や春の星座などの天体を中心に観察します。	定員：各回60名 料金：大人350円 小中高生100円	要予約 4月1日9:30～ ホームページにて予約開始
月イチガク②フィールドワーク **まちかど珪化木探訪** ～久手町まちあるき～	5/9 土 14:00-16:00	大田市久手町で、天然記念物「波根西の珪化木」とまちなかの主な珪化木を訪ねます。	定員：20名 料金：100円	要予約 集合場所：久手まちづくりセンター
バードウォッチング講座 さえずりで鳥を識別 基本10種編	5/10 日 9:00-12:00	ホオジロやシジュウカラなどの基本的な10種類程度の鳴き声を学ぶ講座。ゆっくりと野外散策しながら、その時に見られるさまざまな自然も観察します。	定員：20名 料金：入館料	要予約
春の三瓶山で **自然観察登山**	5/17 日 9:00-15:00	東の原から大平山を経由して室の内池への登山をしながら自然観察をします。草花や野鳥を中心に季節の自然を観察し、下りは大平山からリフトを利用します。	定員：20名 料金：中学生以上1,000円/小学生まで800円	要予約
七輪マグマで火山実験	5/23 土 13:30-15:30	三瓶山のデイサイトをはじめ、島根県内で見られる溶岩について、割ってみたり七輪で加熱し溶かしてみたりしながら、火山について学びます。	定員：20名 料金：入館料	要予約
カレーフェス in北の原キャンプ場	5/24 日 11:00-15:00	県内のカレー店数店がキャンプ場に大集合。大自然の中で島根のカレーを味わえます。		カレーが無くなり次第終了
カレーフェス関連イベント **飯ごうご飯でカレーを食べよう**	5/24 日 10:00-11:00	飯ごうでご飯を炊いてカレーを食べます。カレーはカレーフェスでお好みのものを購入してください。	定員：5組 料金：1組/1,500円 （米4合分を含む）	要予約 三瓶自然館にて受付

要予約 このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに予約を受付します。

三瓶自然館：0854-86-0500　三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500（さんべ縄文の森ミュージアム）　三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

※イベントが変更、中止の場合はHP等でお知らせします。
※毎週土曜日の天体観察会は予約制（ホームページから、その他はお電話）で実施しています。
※4～11月の毎週土曜日の「北の原お散歩ツアー」、毎週土、日曜日と祝日の「天文ミニガイド」は、入館された方を対象に予約不要で開催しています。

三瓶フィールドミュージアムニュース ＜隔月発行＞
編集・発行　公益財団法人しまね自然と環境財団
〒694-0003　島根県大田市三瓶町多根1121-8
TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501
＜エコサポしまね＞ 〒690-0887　島根県松江市殿町8-3　TEL 0852-67-3262
しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。
エコサポしまね（松江事務所）では、地球温暖化対策等の事業を行っています。

Sanbe Field Museum News さんべ発！

No.195　2026年3月号
島根県立三瓶自然館 ニュースレター



宙に浮く建物

上の写真は対岸の建物が宙に浮く「浮島現象」で、宍道湖の北岸から出雲市方面を見た様子です。これは蜃気楼という現象で、空気中で光の一部が曲がって届く時に見られます。浮島現象は、下に暖かい空気、上に冷たい空気が重なる時に見られ、空の部分の光が下に曲がって届くために建物の下に空が入り込む形に見えています。

蜃気楼には見え方が違う現象があり、遠くの景色が上に伸びたり、上下が反転して見えることもあります。限られた場所でしか確認されていない珍しい現象ですが、下に冷たい空気、上に暖かい空気が重なる条件が揃えば、どこでも見られる可能性があるそうです。条件が揃うポイントのひとつは、春から初夏に南風が暖かい空気を運んでくることで、この現象がよく見られる富山湾ではこの時期に 10～ 15 回程度見られるそうです。遠くの景色に目をこらして、上に伸びる蜃気楼の島根県での確認第一号を狙ってみませんか。

島根県立三瓶自然館サヒメル
○開館時間/9:30～17:00
○休館日/毎週火曜日
（火曜日が祝日の場合は翌平日）
年末年始、その他、メンテナンス休館あり

35TH Special Thanks

01 令和8年春の企画展 救え！消えゆく生きものたち2026 ～しまねレッドデータブック 山野の生きもの編～

絶滅の危機にさらされている野生の動植物たちの一覧表があるのを知っていますか？それを「レッドリスト」といいます。そして、そこにリストアップされている生きものたちの情報をあつめて本にしてあるものが「レッドデータブック」です。世界で最初にリストを作成したときに、もっとも絶滅の危険が高い生きものの紹介を、危険を示す赤い色の紙に印刷したので「レッドリスト」や「レッドデータブック」と呼ばれるようになりました。

最初のレッドリストは、1966年にIUCN（国際自然保護連合）によってとりまとめられました（写真1）。もちろん地球規模のリストです。日本では1991年に環境省によって初のレッドデータブックが発行（写真2）。さらに各都道府県ごとに、生きものの生息状況がちがうため、それぞれにレッドデータブックが作られており、島根県でも平成9年に最初の「しまねレッドデータブック」が出版されました（写真3）。

その後、平成16年と平成24・25年に見直しが行われています。この見直しを改訂といいます。3回目の改訂版となる今回は、約10年ぶりに見直されたことになります。なぜ、10年ごとに改訂作業が必要なのでしょうか？

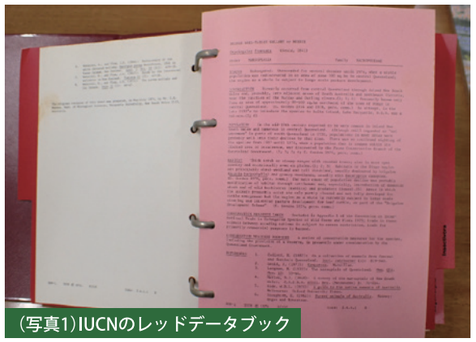
それは、野生の生きものたちや生息地の環境が年々変化しており、その生息数が減ったり、増えたりしているからです。そこで、改訂作業では、10年の間の変化を検討して、危険度のランクや文章を見直しました。


（写真2）環境省が発行したレッドデータブック

では、誰が改訂を行っているのでしょうか？

島根県では、県が中心となって、リストを検討する専門家で組織された検討委員会が作られています。三瓶自然館サヒメルの学芸課職員も、その中に加わって改訂作業をすすめています。文章を書いたり写真を提供してくださる方は、専門家だけでなく、それぞれの分野で調査活動をしているアマチュアの研究者や愛好家の方々もたくさんいます。このように、多くの人たちの情報と知識を結集して作られるのが、レッドデータブックなのです。

三瓶自然館サヒメルでは、4月1日に予定されている改訂しまねレッドデータブックの公開に先立ち、3月14日(土)から、春期企画展【救え！消えゆく生きものたち2026～しまねレッドデータブック 山野の生きもの編～】を開催します。


（写真1）IUCNのレッドデータブック



（写真3）平成9年発行のしまねレッドデータブック

ここでは、新しく改訂されたレッドデータブックに掲載されている、すべての種類の写真※を掲示するとともに、180点以上の標本や剥製、模型、レプリカなどを展示して、それらの生きものたちを紹介します。また、絶滅に瀕する生きものたちを守るための方法などもご紹介しています。

たくさんの生きものたちが暮らしていける未来を思い描きながら、一緒に、何ができるかを考えてみませんか？

（学芸課長　星野由美子）

※今回公開される「改訂しまねレッドデータブック」に掲載される写真です。写真が掲載されない種については、種名の表記のみです。



ギャラリートーク
学芸員の解説を聞きながら一緒に企画展を巡ります。

日程　各回14時～(15分程度)　　会場　企画展示室

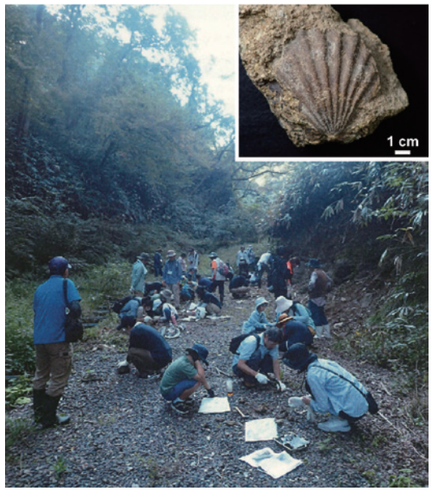
①3/14(土) RDB　④3/22(日) 昆虫　⑦5/3(日) 昆虫
②3/15(日) 鳥類　⑤4/26(日) 哺乳類　⑧5/4(月) 鳥類
③3/20(金) 植物　⑥4/29(水) 植物　⑨5/5(火) 哺乳類

02 出雲市佐田町化石発見＆発掘体験開催レポート 速報版！

出雲市佐田町での地質調査中、約1600万年前の浅い海に生息していた貝の化石をたくさん発見しました。この化石を含む地層は、軽石や溶岩の欠片が“ごちゃ混ぜ”になっているのが特徴です。どうやら貝たちは、火山噴火の活発な環境で発生した土石流のような流れに巻き込まれてしまったようです。

ところで、最近は誰でも自由に化石採集を楽しめる場所はほとんどありません。そこで昨年10月12日、今回発見した化石産地の土地所有者の方に許可をいただき、化石発掘の体験会を開催しました。参加者全員が化石を採集できましたし、なかには大きなホタテガイ類の化石を見つけた方もいました。化石発掘体験は、今年も「化石の日（毎年10月15日）」の記念イベントとして10月25日に開催予定です。当館HPをチェックしつつお待ちください。

（学芸課　今井　悟）



化石発掘体験会の様子と発見された
ホタテガイの仲間の化石(右上)